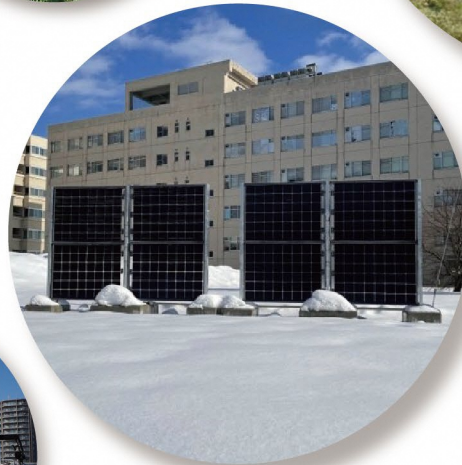


長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略 2050

2023 年度 ▶▶▶ 2030 年度（第1期計画）



令和5年3月
長岡市



はじめに



長岡の暮らしを支える産業の歴史を紐解くと、東山での石油掘削から始まり、国内最大規模の南長岡ガス田など、エネルギーとの関係が深いことがわかります。長岡の先人たちは、戊辰戦争からの復興を遂げるため、文明開化の最新情報を集め、将来を見据えた人材育成と技術開発に取り組み、そこから仕事を創り出す、まさにイノベーションの精神に溢れていました。

現在、エネルギーを取り巻く状況は、ロシアのウクライナ侵攻をはじめとする不安定な世界情勢や、発展途上国での人口増加と経済成長に伴う鉱物資源の不足などの影響を大きく受けています。さらに、地球温暖化によって、今までにない猛暑や豪雨、豪雪などの自然災害が多発しており、温室効果ガスの排出量を減らす対策が求められています。

このたび策定した「長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略 2050」は、わが国をはじめ世界各国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現を本市も目指すにあたり、2030年度までに取り組むエネルギー政策と具体的な取り組みを示したものです。

本戦略において、国・県と同様に2030年度の温室効果ガスを2013年度比46%削減するため、「徹底した省エネ対策の推進」「再生可能エネルギーの日常的な利用」「地域資源の循環促進」の3つを基本方針に掲げています。新たなライフスタイルへの適応や地域資源を最大限に活用した取り組みを進めるとともに、先進技術やイノベーションによって地域に新たなエネルギー産業を創出し、環境と経済の好循環による脱炭素社会の実現を図ってまいります。

目標達成に向けて、市民・事業者・行政それぞれが連携・協働し、消費・選択の行動変容や太陽光発電などの再生可能エネルギーの利用促進に積極的に取り組んでまいりましょう。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本戦略の策定にあたり、ご尽力いただきました長岡市エネルギービジョン(仮称)検討委員会をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただきました多くの方々に心から感謝申し上げます。

令和5年3月

長岡市長 磯田 達伸

目 次

1. カーボンニュートラルを目指す意義と目的	1
1.1. カーボンニュートラルを目指す意義	1
1.2. 長岡市カーボンニュートラル チャレンジ戦略 2050 策定の背景と目的	3
1.3. 戦略の基本的事項	4
2. 長岡市を取り巻く温室効果ガス、エネルギーの状況	5
2.1. 温室効果ガス排出量の状況	5
2.2. エネルギー消費量の状況	6
2.3. 再生可能エネルギーの導入状況	7
3. 市民・事業者の省エネ・再エネ等に関する意識	12
3.1. アンケート調査の概要	12
3.2. カーボンニュートラルに向けた取組の認知度	12
3.3. 住宅・事業所の再エネ設備等の導入意向	14
3.4. 今後 5 年間で重点的に進めるべき取組の意向	16
4. 脱炭素社会の実現に向けた基本方針	17
4.1. 脱炭素化に向けた視点	17
4.2. 脱炭素化に向けた基本方針	18
5. カーボンニュートラルに向けた目標	20
5.1. 現在の取組を継続することによる温室効果ガスの排出量	20
5.2. 2030 年度における温室効果ガス削減目標	21
5.3. 2050 年における温室効果ガス削減目標	26
6. 目標達成に向けた取組	27
6.1. 脱炭素化の実現に向けた重点項目	27
6.2. 脱炭素化に向けた各プロジェクト	28
6.3. 徹底した省エネ対策の推進	32
6.4. 再生可能エネルギーの日常的な利用	51
6.5. 地域資源の循環促進	62
6.6. 日常生活・企業活動における行動指針	76

7. ロードマップと推進体制	79
7.1. 実現に向けたロードマップ	79
7.2. 戦略の推進体制	82
7.3. 戦略の進行管理	82

参考資料

資料 1 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	資 1
資料 2 温室効果ガス及びエネルギー消費量の将来予測の方法	資 5
資料 3 再生可能エネルギー設備導入可能性調査	資 9
資料 4 長岡市エネルギービジョン検討委員会名簿、戦略策定の経過	資 11
資料 5 用語集	資 12